

図書館だより

NO. 105 2006年 11月号
(2006年11月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

さいき文化センターの愛称募集

平成19年4月に佐伯地域の津田地区に「廿日市市さいき文化センター」が開館します。センターは298席の多目的ホール、3万冊が収蔵可能な図書館、公民館からなる複合施設です。この施設は、佐伯地域の学習や文化活動、市民交流の拠点となり、活力ある地域を創造することを目的として、整備するものです。

皆さんに親しまれる施設となるように、施設の愛称を募集します。

応募方法 ①住所②名前③電話番号④愛称⑤愛称の意味を記入の上、下記へ郵送または、市役所4階生涯学習課、市内各公民館、はつかいち市民図書館カウンターへ直接提出してください（応募用紙は自由です）。

〒738-8501 廿日市市下平良1丁目11番1号
廿日市市教育委員会生涯学習課生涯学習係

応募締切 12月5日（火）〈必着〉

- ※ 同名多数の場合は抽選で入選者を決定します。
- ※ 入選者は、平成19年3月に開催予定の落成式で表彰し、記念品を贈呈します。
- ※ 募集した愛称に関する一切の権限は市に帰属します。

問合せ 廿日市市教育委員会生涯学習課生涯学習係 Tel20-0001（内線1478）

今月の展示

〈一般書〉

- ・ 正面展示 『読書のすすめ』

食欲の秋・スポーツの秋・芸術の秋とさまざまな秋がありますが、図書館ではやっぱり読書の秋。お勧めの本や読書に関するエピソードが載っている本を集めて展示しています。

- ・ 展示コーナー 『さくらびあ物語の本』 —廿日市市出身の音楽家—

今月のはつかいちロビーコンサートには、市内在住のパンの笛（パンフルート）奏者・岩田英憲さんが登場します。そこで、はつかいち市民図書館に資料がある廿日市市出身の音楽家をご紹介します。

〈児童書〉

- ・ 子どもの本の展示コーナー 『あったかいおくりもの』

昼間は暖かいのに、朝晩は冷え込む季節になりました。それもそのはず！もうすぐ冬がやってきます。今月は、心も身体もぽかぽか温かくなる本を集めてみました。

わたしのすすめる本

麻糬集中!!

一般書

『空からやってきた魚』

アーサー・ピナード/著

914.6/ヒ

2003年 草思社

好奇心旺盛なアメリカの若者が日本で生活する中で出会ったことを、我々とは少し違った視点から見た話、また、日本のことば・文学・芸能などに精通した詩人の目で書いた話などのエッセイ集。

著者の日本語の豊富な知識に驚き、考え方に教えられ、落語を思わせるユーモアを交えた軽妙な文章が快い。なお、中原中也賞を受賞した詩集『釣りあげては』や、エッセイ集『出世ミミズ』『日本語ぼこりぼこり』『日々々の非常口』も図書館にあり一読をお勧めしたい。

紹介者

原田 正治 様

一般書

『マオ 誰も知らなかった毛沢東』

ユン・チアン、ジョン・ハリディ/著

289.2/モ

2006年 講談社

中国史の常識を引っくり返す内容の濃い興味深い本である。英雄、毛沢東を同士にも家族にも国民にも冷血な権力欲の男として描いている。中国を軍事大国とする軍事技術をソ連から買うため国民を餓死させ、権力を維持するため同志を粛清し、恐怖で縛り付け、特に周恩来がガンにもかかわらず手術を受けさせないで死に追いやる姿は、涙と共に背筋が凍るような凄まじい姿である。中国の近代史を理解する上で必読の書である。

紹介者

高橋 弘道 様

今月の新着 おとなの本

図書館には1カ月に約800冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆☆

- 『協働で地域づくりを「変える」「つなぐ」「活かす」』
まちづくり政策フォーラム/編著 ぎょうせい 318.6/キ
- 『小さな会社のすごい社長!』 羽山直臣/著 フォレスト出版 335.2/ハ
- 『成長への賭け』上・下 -本業にフィットする新事業を発掘する-
アントリュー・キャンベル共著 ファーストプレス 336.1/キ
- 『児童虐待』-現場からの提言- 川崎二三彦/著 岩波書店 S369.4/カ
- 『あした笑顔になあれ』-夜回り先生の子育て論- 水谷修/著 日本評論社
367.6/ミ
- 『心にナイフをしのばせて』 奥野修司/著 文藝春秋 368.7/オ
- 『石斧と十字架』-パプアニューギニア・インボク年代記- 塩田光喜/著 彩流社
382.7/シ
- 『強毒性新型インフルエンザの脅威』岡田晴恵/編 速水融ほか/著 藤原書店
493.8/キ
- 『車評50』三樹書房商品評価チーム/編 三樹書房 537.9/シ
- 『サザエさんの〈昭和〉』鶴見俊輔・齋藤慎爾/編 柏書房 726.1/サ
- 『「軸」と「ハラ」を鍛えれば、必ず強くなる!』-身体意識メガ・トレーニング-
高岡英夫/著 青春出版 780.7/タ
- 『超一流じゃなくても「成功」できる』長谷川滋利/著 新潮社 783.7/ハ
- 『名もなき毒』宮部みゆき/著 幻冬舎 F/ミ
- 『他諺の空似』-ことわざ人類学- 米原万里/著 光文社 914.6/ヨ

あたらしく入った本 こどものほん

『ルリユールおじさん』

いせ ひでこ/作 理論社 E/I

ソフィーの大切な植物図鑑がばらばらになってしまった。本屋さんには新しい図鑑があるけれど、この本を直したいソフィーはルリユールおじさんの仕事を訪ねることに。ポロポロの本が新しく生まれ変わっていく様子を、美しい絵で綴った絵本。

『学校つくっちゃった!』

エール・イルマツ・プレザン/編

ポプラ社 E/カ

「絵をかいたりものをつくったりする学校がない。だったら、つくろうよ!」と、ダウン症の人たちが、学校を作ることになった。テーブルに絵を描いたり、トイレも楽しく・・・。自然のリズムでゆったり、みんなで作っていく様子を描いた写真絵本。

『やきいもの日』

村上 康成/作・絵 徳間書店 E/M

仲良しのれいちゃんと大げんかしたりっちゃんは、公園の落ち葉の上に寝転ぶと小さかった頃のことを浮かんできました。家に帰るとおじいちゃんがたき火をしていて「やきいもするぞい」って。でもそこには、れいちゃんもいて・・・。

『親子で楽しく「ぬう」と「あむ」』

熊田 まり・GON-YA/著 主婦の友社/編

主婦の友社 594/ク

基本の縫い方と編み方だけでできる可愛い手作りの本。簡単だけどキュートなものばかりなので、ぶきっちょだけという子にも、ヘアアクセサリーや指人形、マフラーが楽しく作れます。

『おばけのジョージー』

ともだちをたすける』

パート・ブライト/作・絵 なかがわ ちひろ/訳

徳間書店 933/フ

おばけのジョージーは、ホイッティカーさん夫妻の家の屋根裏部屋に暮らしています。ある日、夫妻は飼いねこを連れて旅行に出かけることにしました。そこで、ねこの友だちのふくろうとジョージーもついていくことに・・・。恥ずかしがり屋のおばけの楽しい物語。

『ふたりきりの戦争』

ヘルマツ・ツルツ/作 渡辺 広佐/訳

徳間書店 943/フ

14歳のエンヒェンは孤児になったので、農家に預けられた。その村には、占領地から連行されたロシア人労働者がいた。彼らが強制的に他へ連れ去られることを知った彼女は、そのうちの一人を逃そうとするが・・・。第二次世界大戦末期のドイツの物語。

● 『スーパーパティシエ物語—ケーキ職人・辻口博啓の生き方—』

輔老 心/著 岩崎書店 289/シ

● 『14歳からの政治—日本の「これから」がわかる教科書—』

長谷部 尚子/著 ゴマブックス 312/ハ

● 『どんぐりの穴のひみつ』

高柳 芳恵/文 つだ かつみ/絵 偕成社 486/タ

● 『Q&A 季節の食育』

服部 津貴子/著 岩崎書店 498/ハ

● 『アフガニスタン山の学校の子どもたち』

長倉 洋海/著 偕成社 748/ナ

● 『いたずらハリ—きかんぼのちいちゃいもうと その3—』

ドロシー・エドワーズ/さく 渡辺 茂男/やく 酒井 駒子/え 福音館書店 933/エ

● 『子どもの本を読みなおす—世界の名作ベストセレクト28—』

チャールズ・フレイ&ジョン・グリフィス/著 鈴木 宏枝/訳 原書房 909/フ

子どもと本の講座

第2回目の子どもと本の講座は、10/11(水)に開催されました。ホーキ星文庫主宰の小堀恵美子さんを講師にお迎えして、絵本から幼年童話へ移行時の子どもたちに、どのような本を薦めたらよいかをテーマにお話を聞きました。絵本の体験は豊富でも絵本で終わってしまう子、文字は読めても物語は読めない子どもにどうやって本を薦めたらよいかについては、「子どもが字を読めるようになって5・6年生ぐらいまでは周囲の大人が本を読んでやってほしい。それは子どもは字を読むのに一生懸命で、物語が楽しめないからです。」と話されました。



参加者からは、なかなか本を読もうとしない子どもに「いかに本を読ませるか」と悩んだこともあったが、「読んでやることの重要性」に改めて気づいたという感想がありました。

講座のなかで紹介された、『読む力は生きる力』脇明子著／岩波書店(019.2/7 児研)はお勧めです。図書館でも所蔵しておりますので是非読んでみてください。

回	とき	内容	講師
第3回	11/18(土) 13:30~15:30	ようこそ物語の世界へ part2 —小学校高学年からヤグ アルトにすすめたい本—	野間 きみ子 (きりん文庫主宰)
第4回	12/13(水) 10:00~12:00	新刊絵本を紹介します 2005年11月~2006年10月の間に図書館に入った本	図書館職員

いずれも申込みは不要、一回だけの受講も可能ですので、多数のご参加をお待ちしております。



11月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ◎	4
5	6 休館	7	8	9	10	11 ☆
12	13 休館	14	15	16	17 ◎	18 ◆
19	20 休館	21	22	23	24	25 ☆
26	27 休館	28	29	30 休館		

- ◎…ちいさいこのためのおはなしかい
場所：図書館
対象：乳幼児
時間：11時～
- ☆…おはなしかい
場所：図書館
対象：幼児・小学校低学年
時間：11時～
- ◆…子どもと本の講座 第3回目
場所：市役所7階 会議室